

規制の事前評価書(要旨)「簡素化」

規制の名称	貸金業者の貸付条件等及び標識に係る書面揭示規制		
担当部局	金融庁企画市場局総務課信用制度参事官室	電話番号: 03-3506-6000(内線: 3544)	e-mail: RIA@fsa.go.jp
評価実施時期	令和5年1月～3月		
規制の目的、内容及び必要性等	<p>現行の貸金業法においては、貸金業者に対して、営業所又は事務所における貸付条件等及び標識の揭示を義務付けている。当該規制は、営業所又は事務所といった特定の場所に国民等が赴くことを前提とするものであり、国民等が必要な情報を確認するためには営業所又は事務所に赴く必要がある。この点、今日の情報通信技術の進展とインターネットの普及により国民生活におけるインターネットの利用が日常的なものとなっていることを踏まえれば、国民の利便性等の向上を図る観点からは、インターネットによる閲覧等を可能とし、いつでもどこでも必要な情報を確認できるようにすることが望ましい。</p>		
	法令の名称・関連条項とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貸金業法第14条(貸付条件等の揭示) ・貸金業法第23条(標識の揭示) 	
直接的な費用	費用の要素		
(遵守費用)	<p>今般、インターネット上での公表義務を加えることにより、貸金業者は、貸付条件等及び標識に関する情報をインターネット上で掲載するための対応が必要となる。この点、貸金業者の多くは、既にインターネットを利用して広告等を行っており、貸付条件等及び標識に関する情報のインターネット上での公表に対応するために発生する追加の費用(遵守費用)は少額にとどまるものと想定される。なお、現在インターネット上で広告等を行っていない小規模事業者等も存在すると想定されること、そうした小規模事業者等に対しては、インターネット公表義務を適用させないこととしている。</p>		
(行政費用)	<p>金融庁が貸金業者に規制の内容を周知・広報する必要があると想定される。周知・広報に当たっては、業界団体を通じて行うことや金融庁のHPへの掲載等により、十分周知が可能のため、特段の行政費用は発生しない。</p>		
副次的な影響及び波及的な影響	副次的な影響等		
	当該規制による副次的な影響及び波及的な影響は基本的に発生しないものと想定している。		
その他関連事項	-		
事後評価の実施時期等	施行から5年以内に事後評価を実施することを想定している。		
備考	-		